

面方西南南							面	
「カイマナ」	「メナド」方面	「アンベンア」	「マカンサル」	「ハリコクパハン」	「スラバヤ」	「シヤワ」東南岸	武	南
三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	三二四 二二二 〇七四 九三	漢	京
双發	B三 P三	T三	B三	B三 四發 三二九 九回	双發	B三 大型	P六	B四
偵察	侵入	投彈	投彈	投彈 傳單撒布	偵察	偵察	未襲	爆撃

方灣臺那支			面方洋平大部				
台湾沿岸	鹿尾 (嘉義澎湖地区 台東台中等)	岡山	台湾沿岸	「トランク」方面	「ロタ」	南鳥島	母島
二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三	二二四 二二二 〇七四 九三
P三 B三 Y	P三 B三 Y	大型	P三 B三 Y	B三 B三 B三 B三 B三	F三 B三 F三	M三 F三 五〇	T三 B三 F三
偵察	偵察	爆撃	爆撃	偵察	偵察	偵察	偵察

東西海岸哨戒内B三四X一花蓮港台東地区  
 銃撃一板湖地区投彈  
 西海岸哨戒

昭和二十年六月二十七日

戦況ニ關シ御説明資料

一、南西諸島方面戦況

(1) 昨二十六日天候空部隊ニ於テ、未明九州南東海面ニ發見セシ敵部隊ニ對シ攻撃待機ヲ下令シ常敵實施ノ事定ナリシ處同方面天候不良ナリシ爲常敵ヲ取止メ攻撃待機モ解除セリ

(2) 昨日南西諸島方面ハ天候半晴ニシテ未明奄美大島、古仁屋基地ヲ發進沖繩周辺敵艦艇ノ攻撃ニ

向ヒタル瑞雲ハ伊江島伊平屋島ノ間ニ約二十隻ノ敵艦艇集結シタルヲ認メタリ

(X) 尚一昨二十五日早朝天航空部隊ノ彩ノ雲ハ中城湾ニ敵戦艦一隻輸送船五丁隻在泊中タルヲ認メタリ

(ハ) 昨日〇六〇〇敵ハ久米島ニ對シ上陸ヲ開始。九五〇同島所在海軍部隊ハ(陸軍軍人二〇名軍屬一〇名ヲ含ミ兵曹長以下六七名)最後の電報ヲ發セリ

二、昨二十五日夜ヨリ昨二十六日未明ニ亘リ實施ヒ天航空部隊ノ對沖繩航空攻撃ノ状況左ノ如シ

日時	兵力	攻撃目標	記
二五夜	10%	二	一機艦種不詳ニ雷撃ヲ命中略確實一機遠處電信機裝備機五機中三機丁ニ突入、一機突入ノ報告通信機報儀ハ其他七機不突入ノ成功也トシ
二六朝	瑞雲 八 天山 三 銀河 五 水偵特攻 八 夜戦 八	沖繩周辺 敵艦艇	銀河突入報告、二機未返還、其他調査中 天山機ハ雷撃効果不明、其他効果不明、一機未返還 瑞雲一機名護湾ニ於テ浮揚、一隻沈没其他調査中 戦果調査中 二機直撃炎上、P38二機炎上、三機撃墜

陸攻	七	戦果調査中
夜戦	五	
大島上空制圧		敵の見が全機帰着

三、其他戦況

(1) 「ホルネオ島」「バリックパン」ニ於ケル敵艦船ハ從來ニ比シ増加シ一昨二十五日視界内ニ巡洋艦三隻駆逐艦九隻掃海艇十四隻駆潜艇二隻特務艦一隻ヲ認め内巡洋艦駆逐艦ハ我が飛行場及砲台ニ對シ緩慢ナル艦砲射撃ヲ實施又掃海艇ハ依然掃海作業ヲ續行セリ

尚同島所在部隊ハ二十五日夜間我が雷撃機ノ攻撃ニ依リ敵巡洋艦一隻轟沈同一隻大火災五分後同艦ノ沈没スルヲ認メタリ

○昨二十六日一五三〇「ハルマヘラ」島所在我が部隊ハ烟雾ノ為艦種隻數ハ不明ナルモ大小約八十五隻ヨリ成敵船團ノ「モロタイ」水道ヲ通過北上スルヲ認メタリ  
○昨二十六日一六三〇母島南方二十哩ヲ敵駆逐艦三隻

### 西航セリ

四第四十二號駆潜特務艇第一三號駆潜特務艇ハ去ル二十三日第八三三號交通船ヲ護衛「スラバヤ」ヨリ「ホルネオ」方面ニ向ケ航行中敵潜水艦ノ追躡ヲ受ケ之ト交戦〇一四五及〇五〇〇夫々沈没セル事判明セリ

五各地空襲状況別表ノ通

別表

西南諸島方面				方面	
石垣島	宮古島	沖永良部	奄美大島	喜界島	場所
二六日 三五日 三五日 夜一 半二 三三 四五	二六日 二六日 二六日 二六日 二六日	二六日 二六日 二六日 二六日 二六日	二六日 二六日 二六日 二六日 二六日	二六日 二六日 二六日 二六日 二六日	二五日 午前
				午後	時
PP BB FM I	PP BB FM I	PP BB FM I	PP BB FM I	PP BB FM I	敵兵力
陸軍回銃機銃等 未銃機銃等、被害ナシ	滑走路被弾二十六日使用不能	銃機銃等	通過攻撃ナシ 攻撃セズ	攻撃セズ 砲銃撃 戦果被害ナシ 哨戒ニ攻撃セズ 上空哨戒(常時)未発表 攻撃セズ	記      事

西南方面				
マカツサル	タラカン	ケンダリ	メナド	スラバヤ
三五〇 二一八 〇三〇 〇〇	三五〇 二一八 〇三〇 〇〇	三五〇 二一八 〇三〇 〇〇	三五〇 二一八 〇三〇 〇〇	三五〇 二一八 〇三〇 〇〇
P B B 三 四 九	P B B 三 四 九	双發 B 九	P B Y 三 四 五	大型
四二九 〇〇一	三二一	—	—	—
偵察 戦果 B 四 × 一 撃墜 被害 第一滑走路使用不能	第一第二回砲台市街爆撃 被害 高角砲 × 一 大破、 射撃機 × 四 基至上	田ニ投擲 戦果被害ナシ	マカツサルニ投擲 被害 戦果被害ナシ	投擲被害ナシ

南東方面	中部太平洋方面				朝鮮、台湾、千島方面		
	マノクワリ	ロタ	南島	父島	千島	高雄	鎮海
三五〇 二一九 四一七	三五〇	三六〇 二五五 〇三一 〇五〇	三六〇 二五五 〇三一 〇五〇	三五〇 二一八 〇四〇	二四〇 一〇九 二五五 三〇八	二五〇 〇九九 四〇〇 〇〇〇	二六〇 二四一 〇三三 〇〇〇
双發 f	B F B 三 九 九	B B 九 九	B 四	P 五 一	F 4 U L	P 三 八	P B Y 三 四 五
三	一四八六	二一	一	二	二六二	三三	二五
未龍衣	銃爆撃被害ナシ	未龍衣 被害ナシ	田及附近海面銃爆撃 P 五 × 二 撃破、 被害 艦隊 × 一 沈没	田及附近海面銃爆撃 P 五 × 二 撃破、 被害 艦隊 × 一 沈没	松輪島空襲大發ニ銃撃 被害 艦隊 × 二 海軍 f 〇 × 一 破 陸軍 f 〇 × 一 破 大破、中破、小破 f 〇 × 一 破、 f 〇 × 一 破	偵察 第一回ニ投擲 台北ニ投擲 戦果被害ナシ	朝鮮各地偵察 被害ナシ



昭和二十年六月二十八日

戦況ニ關シテ御説明資料

一、昨二十七日九州南部及南西諸島方面天候不良あり爲  
索敵ヲ實施セザリシ模様ニシテ敵情不明ナリ

夜間古仁屋基地ヲ水爆或ハ水偵ヲ以テ沖繩周辺敵艦  
船特攻攻撃ヲ實施セル如キモ詳細不明ナリ

尚一昨二十七日未明實施セル沖繩周辺航空攻撃ニ於テ  
上衛ニ達セシ未帰還機ノ内銀河並ニ天山各一機ハ夫々  
敵艦ヲ雷撃セル後他ノ基地ニ不時着シアリシ事

判明セリ其ノ内銀河ノ攻撃ハ「ミスト」ノ為効果確認  
スルニ至ラザリシモ命中略確實ナリ

二(1)二十五日薄暮ヨリ「バリックパン」方面ヲ奇襲セル陸軍雷  
撃機ノ戦果ノ内現地海軍部隊ニ於テ敵巡洋艦ニ  
隻裏撃沈スルヲ認ナシ旨昨日 上聞ニ達セルモ其ノ後  
巡洋艦ハ大型駆逐艦ノ誤認ニシテ同方面在泊艦中  
二十七日ハ大型駆逐艦四隻減少シアリテ内ニ隻ハ沈没ヲ確

認シアル旨報告ニ接セリ

(2)一昨二十五日敵掃海艇ニ隻ハ「バリックパン」沖ニ於テ我敷  
設機雷ニ触レ爆沈セリ又敵ハ依然掃海實施中  
シテ巡洋艦駆逐艦ノ陸上ニ対スル砲撃熾烈ナリ

三(1)「ハルマハラ」島西方「テルナーテ」島ニ於テハ彼我依然對峙  
中ニシテ敵ハ若干増強シアルモノノ如シ

(2)一昨二十六日「モロタイ」島敵泊地ヨリ敵艦船大小約二〇

隻出港北西進セルト<sup>一部</sup>既ニ上聞ニ達セル所ナレモ同

泊地ニハ尚大小約一〇〇隻ノ在泊艦船及舟艇ヲ認メ

アリ

四、去ルニ上日事大東島作戰輸送ノ島内海西部ヲ出撃

セル波那<sup>第一</sup>百三清水艦ハ昨ニ十七日〇。四〇〇同島ニ

對シ無事揚格ヲ完了セリ

五、内南洋方面各島嶼ニ於セル糧食事情ハ別表第一通

ニシテ内現地自治可成ルハ「ポナバ」モ「トロツク」ロク「トラツク」

「バラオ」ヤツ「ソ」島嶼ナリ

現地自治不能ナル個所ニ對シテハ飽迄糧食補給輸

送ノ繼續ニ努力シ来ルモ戦局トモ關聯之ガ補給輸送ハ

至難ナル狀況ニシテ甚タ遺憾ナル實情ニアリ

今般病院船高砂丸ヲ六月末大島島ニ派遣シ糧

食約二一〇屯沈療品約三ヶ月分ヲ補給スルト共ニ陸海

軍傷病兵約一千名ヲ還送シ以テ所在人員ノ縮減ヲ  
計リ併セテ同地ノ食糧事情ヲ好転セシムル計畫ニシテ  
成功ノ場合ハ同島糧食ハ十月初頭迄持久可能ト  
モ見込ナリ

本編送ニ成功功セバ「マーシャル」諸島方面ニ移シテモ同  
様ノ補給及人員收容ヲ實施致度目下研究中  
ナリ

六、航空燃料ノ不足ヲ充足スルハ刻下ノ急務ニシテ各種ノ方策

ヲ講ジツツアルモ尚別表第二ノ要領ニ依リ潜水艦ニ依ル

航空揮發油ノ還送ヲ計畫中ニシテ大型潜水艦七隻小型

潜水艦五隻ヲ充當十月末迄四箇月間ニ約七二四。噸ノ

航空燃料ヲ還送取得可能ノ見込ニシテ目下輸送ニ必要

ナル諸施設ヲ急速整備中ナリ。

七、(一)昨二十六日一〇二八三陸方面鮪<sup>トド</sup>崎沖ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃

			部
地名	舟艇	燃	自給状況其ノ他
ウオツゼ	大發 2 (5月)	AG 4 (5)	シヤル方面ハ大体 ニシテ 19.10.3
○ パラオ地區			補足的日量 2.5 リ尚椰子油及 養向上ヲ圖リ ノ域ニ達セス
○ ヤツブ地區			季以後自給
計			
調査期日	20.4.25 附 4		現況。現地 調書ニヨル
調査資料	南鳥島ハ 20. 4 20 號ニ據		
備考	○印ハ現地		

八各地空龍衣狀況別表ノ通

噸)ハ坐礁セリ

ヲ受ケ神津丸(B貨ニ七一噸)ハ沈没シ永觀丸(C貨六六。噸)ハ坐礁セリ

(白)昨二十七日二四五第七日裕丸(C貨八七。噸)ハ朝鮮東岸ニ坐礁沈没ニ瀕セリ

(終)

内南洋方面離島状況調査表

(20.6.14調) 軍令部

地名	舟艇	燃料	供食人員			糧食保有状況		内地ヨリノ 補給状況	現地自活状況其ノ他	
			海軍 (ハ)軍艦	陸軍	總計	主	食			
ウオツゼ	大發 2 (5月)	AG 480 軒 (5月)	1916 (72)	1,014	2,930	米麥 1日120g=野菜屑混 シ給食ニテ4.20迄	19.9迄 (以皆)	19.8迄 (後無)	實施セズ	以上マニシヤル方面ハ大体 同一狀況ニシテ19.10.3 附電報ニ依ルヤルトノ狀 況19.11.10附ニ依ルミレ ノ狀況ヨリ考ヘ榮養狀況極 メテ不良ニシテ兵員ノ減耗 モ相當アリト思ハル尙現地 自活極メテ困難ナリト想像 サル
マロエラツブ	大發 5 (5月)	AG 392 軒 G 2 軒	1,057 (60)	1,833	2,890	19.9迄 (以皆)	19.8迄 (後無)	"	數ヶ月來ノ減食ニテ体力消 死亡率大等ノ現象ヲ呈シ居 リ目下南瓜、椰子汁等ニテ自 活セルモ充分ナル給養ハ望 得ズ	
ミレ	交通艇 1隻以上	AG 500 軒 L 18 艘	2,391 (17)	1,909	4,300	19.8迄 (以皆)	19.8迄 (後無)	"	體力榮養狀況 現地自活狀況 イウラニ同ジ	
ヤル-ト	大發 2 曳船 1 解 1	AG 825 軒 L 40 艘	1,118 (60)	942	2,060	19.9迄 (以皆)	19.5迄 (後無)	"	數ヶ月來ノ減食ニテ体力消 死亡率大等ノ現象ヲ呈シ居 リ目下南瓜、椰子汁等ニテ自 活セルモ充分ナル給養ハ望 得ズ	
ナウル	大發 8	AG 507 軒 C 2 艘 L 13 "	4170	不明	4170	19.9△補給ニテ米55屯輸 送セシヲ3割支給ニテ2ヶ月 喰延セリ	19.9以降	實施セズ	體力榮養狀況 現地自活狀況 イウラニ同ジ	
オーシャン			510	不明	510	19.8迄 (以皆)	19.3迄 (後無)	實施セズ	生野菜自給可能 一部主食代用品自給可能	
グサイ	發動艇 2 解 3		489	4,561	5,050	19.5迄 (以皆)	19.5迄 (後無)	"	現地生産ニ邁進ノ結果1912 以降主 副食共ニ現地物資ニテ 充分充足 主食ハ甘藷(キヤツ サバ)、白ブヲ、米、副食ハ野 菜、魚肉、植物油、鹽、鯉節 等ナリ當方面ニテ自活狀況最 モ良好ナリ	
○ボナベ	大發 1 魚船 12 其ノ他 10	AG 69 軒 L 281 艘	2,242 (974)	7,108	9,350	19.5頃ヨリ逼迫	"	"	約5割支給現地自活極ネ充足 昨年末(ラツク)ヨリ時々補給 ヲ行ヒタリ	
○モートロツク	大發 4 魚船 1	AG 98 軒 L 3 艘	351	637	988	20.4.25 ヨリ20日分	20.4.25 ヨリ20日分	"	南瓜ニヨル自活ヲ極力實 ナルモ狀況極メテ不良 左掲員數ハ5月中ニPTへ轉 進完了セシモノトシテノ員數 ナリ	
エンダービー	大發 4 小發	AG 98 軒 L 3 艘	70 -20.4.25	530	600	20.4.25 ヨリ20日分	20.4.25 ヨリ20日分	"	19.12以降甘藷ニテ自活 (目下1人1日700g)中自 活ノ見込充分トノ來電アリ	
○ロタ			陸海軍 4,500 -19.8.1- 民 3,500		8,000	19.10以降 米麥皆無			甘藷ノ増産ニ依ル自給策成 ルモ其成采不振 調味料其ノ 他極メテ缺乏現地産(ババイ 椰子、口等)ヲ利用 食料粗 悪ニヨル下痢患、榮養失調ニヨ ル脚氣患者相當發生	
バガン			400 -19.12.14	2,000 19.12.14	2,400 -19.12.14	米麥220g (1/4定量)ニテ 3月中旬迄	19.12以降	實施セズ	農作物強風ノ爲成績不良ナル モ努力中 氣力体力甚シク衰 ヘアリ	
メレヨン	大發 12	AG 200 軒	1,600 -20.4.25	2,900 -20.4.25	4,500	300g 給食ニテ 20.7迄保有	19.4.△補給			

別表第一

八各地空襲表狀況別表ノ通

生碩沈没ニ溺セリ

(終)

												進完了セシモノトシテノ員數ナリ
○ロタ			陸海軍 4,500 -19.8.1- 民 3,500	8,000		19.10以降 米麥皆無						19.12以降甘藷ニテ自活 (目下1人1日700g)中自 活ノ見込充分トノ來電アリ
バガン			400 -19.12.14- 19.12.14	2,000 19.12.14	2,400 -19.12.14-	米麥220g (4定量)ニテ 3月中旬迄			19.12以降 實施セズ			甘藷ノ増産ニ依ル自給策成 ルモ其成未だ不確 調味料其 他極メテ缺乏現地産(パパイ 椰子 白糖等)ヲ利用 食料粗 悪ニヨル下痢患 榮養失調ニヨ ル脚氣患者相當發生
メレヨン	大發 12 AG 200 軒		1,600 -20.4.25-	2,900 -20.4.25-	4,500	300g 給食ニテ 20.7迄保有			19.4.△補給			農作物強風ノ爲成績不良ナル モ努力中 氣力体力甚シク衰 ヘアリ
○トラック	大發 55 AG 880 軒 徴傭船 40 L 30 艘 給油船 1 C 300 艘 給水船 2		31,000	13,000	44,000	19.4.25ヨリ1ヶ月間			γ△等ニテ 隨時補給			目下主食 4割支給副食ハ現地 生産物(野菜魚類)ヲ使用中 其ノ他甘藷1人1日約300g 支給目下生産隊ヲ組織化シ現 地生産(主食代用甘藷魚類 椰子油等)ノ増産ニ邁進中ナ リ現地耕地ハ1人90坪程度 榮養失調死亡者毎月150名程度
大鳥島	大發 2 AG 576 軒 曳船 2 (7月)		3,106 (29)	1,144	4,250	20.6.3迄			20.4△1隻 20.6上△1隻ニ テ補給豫定			野菜栽培ハ汁ノ實ヲ補フ程度 魚介殆ンド盡キ自給策立タズ 最近自給策確立ニ腐心シアル モノト認ム
南鳥島			半数以上陸軍		3,211 -20.5.8-	3割減食ニテ 6月下旬迄			20.4△1隻ニテ 補給20.6菊丸ニ テ糧食21屯補 給			自給自足ヲ極力獎勵シ居ルモ 土地 破産ニシテ一部ヲ利用 シ得ルニ止リ未ダ全般的ニ兵 食ニ利用スルニ至ラズ
○パラオ地區			1,695 -20.5.22-	24,262 -20.5.22-	25,957 外ニ官民 10,450 -20.5.22-	日量 250g 主食 20.6未迄 副食 20.5.26迄 調味品 20.6未迄			實施セズ			4月ハ甘藷等現地自活ニ依リ 主食代用品ヲ以テ當部隊定量 ノ概ネシテ充足米麥極力喰延 シニヨリ補足的日量250gヲ 自給シアリ尙椰子油及漁撈等 ニ依リ榮養向上ヲ圖リアルモ 未ダ所望ノ域ニ達セズ
○ヤップ地區			800 -20.5.22-	6,150 -20.5.22-	6,950 -20.5.22-	不 明			"			20年夏季以後自給策確立 ノ見込
計			52,915	67,950	132,116 外ニ官民 10,450							
調査期日	20.4.25附4F現状 調査ニヨル		特ニ附記セルモノヲ 除キ19.10.1現在 (4F書類)ニ據ル 但シ陸軍員數ハ總計 ヨリ海軍員數ヲ差引 キタルモノナリ		特ニ附記セル モノヲ除キ20. 4.25附4F現 狀調査ニ據ル		20.4.25附4F現状調査ヲ基礎トシ其ノ後ノ補給状況、現地報告、 電報等ニ據ル					
調査資料	南鳥島ハ20.5.8附南鳥島警機密第30號ノ23ニ、[パラオ]地區、[ヤップ]地區ハ20.5.22受照參電第420號ニ據ル											
備考	○印ハ現地自活可能ノ地ヲ示ス											



潜水艦ニ依ル航揮還送量見込(2-6-25) 軍令部

	七月		八月		九月		十月		十一月		
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
1351 (航揮運機ノ用)	昭南	500	0	0	0	0	0	0	0	0	
1352 (建造)	昭南	0	0	昭南	500	0	0	0	0	500	
1372 (ト)	台湾	200	0	台湾	200	0	0	台湾	200	0	
1402 (改造)				昭南	0	0	昭南	700	0	0	
115 (改造)							昭南	0	0	500	
1372 (改造)				台湾	100	0	台湾	100	0	100	
1369 (輸送)			南島	台湾	100	0	南島	台湾	100	0	
波101 (潜水艦)			父島	0	0	父島	60	0	0	60	
波102			台湾	60	0	台湾	60	0	0	60	
波103			台湾	60	0	台湾	60	0	0	60	
波104			父島	60	0	父島	60	0	0	60	
波105				60	0		60	0	0	60	
合計	760		700		2460		3320				
總合計	7240 吨	但シ改造工事順期ニ進ミ工作戦消耗ナキ場合ナリ									
内譯	昭南→4400 吨	台湾又ハ南島島→400 吨		父島→600 吨		昭南ノ新設ノ要アリ					
	台湾→1340 吨										

記 事

イ 402 改造要領  
 V 格納筒 236Ton  
 V 浮舟格納筒 25Ton  
 ゴムボール Ton  
 450×0.7=315  
 計 556Ton  
 (677キロ)

◎ゴムボール現地生産ヲ要ス

ニ 15 改造要領  
 V 格納筒 160Ton  
 V 浮舟格納筒 16Ton  
 パルチー 250Ton  
 計 426Ton  
 (511キロ)

昭南ガ敵手ニ陥入ルコトアルベキヲ以テ成ルベク速ニ佛印其ノ他適當ナル場所ニ航揮ヲ分散秘匿スルノ要アリ



終り (1) 部

戦況ニ關シ御説明資料

昭和二十年六月二十九日

面方東北		面方那支					面方洋平太部中		
武藏	武漢	石灰窪	燕湖	安慶	石灰窪	南京	八丈島	南鳥島	トランク
三五 一五 三五	一九 七二	七七 四三 五六	一四 二〇	三三 四三 五九	一二 五〇	二五 〇三 二〇	二六 一〇 一八	三〇 〇四 四五 七九	三六 二七 一三 一〇
B三四	P五	P五	P五	P五	P五	B三四	B二九	PBY	B三四
一	二	四	四	四	四	一	一	三	一
棧橋沖投弾	田所近投弾	'	'	未襲	未襲	銃爆撃	爆撃	海面投弾	偵察
				被害	被害				春島田投弾
				一需一〇能中級					
				空傷×二					

卷二 (一) 三三

一、昨ニ丈日九州方面ハ兩機様ニシテ同方面ヨリスル索敵班ニ  
航空攻撃ハ何レモ行ハズ敵情不明ナリ

尚南西諸島方面ニ對スル敵機ノ未襲モ低調ニシテ  
延約八十機程度ナリ

二、昨二十七日夜奄美大島古仁屋基地ヲ發進セル瑞雲

一機ハ沖繩金武灣外ニ於テ敵駆逐艦ヲ攻撃シ之ニ直  
撃弾一、至近弾二ヲ共ハ裏沈セシメタリ

尚同日夜古仁屋基地ヲ發進沖繩周辺敵艦船攻撃  
ニ向ヒタル零式觀測機特攻一機モ突入略確實ナリ

三、昨二十六日第五十一師駆潜艇ハ磁探裝備水偵ヲ誘導  
ノ下ニ真羽東岸甕崎沖ニ於テ敵潜水艇ニ對シ爆雷攻撃  
ヲ行ヒ八三〇一大誘爆音ト共ニ水柱約八米噴出後イテ二回亘リ  
重苦シキ爆發音ヲ聽取リ敵潜水艇ニ致命傷與ハスレト認ム

四、日本海方面ハ去ル二十五日以後敵潜水艇ノ出現ヲ見ズ

### 五、其ノ他戰況

(1)「ボルネオ島」「バリックパン」ニ於テハ一昨二十七日敵ハ南方  
海岸及飛行場ニ對シ飛行機約一五〇機ヲ以テ銃爆  
撃ヲ實施スルト共ニ巡洋艦駆逐艦掃海艇駆潜  
艇等全艦艇ヲ擧ゲテ同地區ニ對シ砲撃ヲ行ヒ  
一方其ノ掩護下艦載高速内火艇數隻ヲ以テ味方  
水際陣地ノ強行偵察ヲ實施セリ尚同日沖合ニ

視認セル敵艦船ハ巡洋艦五隻ヲ含ミ約六十隻ナリ

④「ハルマハラ」島西方「テルナーテ」島ニ於テハ一昨二十七日彼我依然對峙激戰中ナリ

六、各地空襲状況別表ノ通

七、昨二十八日二二五ノ米國放送ニ依ルハ「ジャバ」少将ハ昨二十八日華府ニ於テ残存日本海軍水上兵力ニ関シ新聞記者圍ニ左ノ如ク語レリ

「米海軍當局ノ推測ニ依ル日本海軍残存日本兵力ハ  
戦車空母（半戦艦 半空母） 二隻

戦艦長門（「ウエスト・バージニア」<sup>級</sup>）ニシテ就役後二十年ヲ経過セルモノ）  
未就役戦艦 二隻

空母（擬装シテ撃卓留中） 少数

終（二）まで

終り (二) 止む

中 部 太 平 洋		南 西 諸 島			方 面 場 所
父 島	バガン	奄美大島	南大東島	石垣島	喜界島
二五日 一	二五日 一	二五日 一	二五日 一	二五日 一	二五日 一
二二時 一	二二時 一	二二時 一	二二時 一	二二時 一	二二時 一
P五	P五	P五	P五	P五	P五
一	一	一	一	一	一
同、港序銃撃 トリスト花車	同、港序銃撃 トリスト花車	内一五枚投擲 被害 防備隊一全一被破壊	上空砲回	海面偵察 一部落銃爆撃	陣地、田周辺銃爆撃 田周辺新落銃爆撃

別表

右ハ海軍當局推定ニシテ米海軍ハ日本海軍ノ之等残存  
兵力ニ依ル特攻ヲ觀迎スト

巡洋艦  
駆逐艦

火數  
三〇隻

(終)

終り (11) 時迄

支那方面	面
南 武 京 漢	虎 尾
$\begin{matrix} \text{二六日} \\ \text{二〇日} \\ \text{二〇日} \\ \text{二〇日} \\ \text{二〇日} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{二八日} \\ \text{一〇日} \\ \text{二五〇} \\ \text{〇〇} \end{matrix}$
$\begin{matrix} P \\ B \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$	$\begin{matrix} P \\ B \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$
$\begin{matrix} \text{二} \\ \text{一} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{一} \\ \text{八} \\ \text{五} \end{matrix}$
未襲	爆撃 戦果撃破 B 24 X 二 (内 2 隻 墜機 確実) 製糖会社 火災

南 西 方 面		台 湾 方	
メナド	マカツサル	ケンダリー	バリックパハン
$\begin{matrix} \text{二七〇} \\ \text{二八〇} \\ \text{二九〇} \\ \text{三〇〇} \\ \text{三〇〇} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{二七〇} \\ \text{二八〇} \\ \text{二九〇} \\ \text{三〇〇} \\ \text{三〇〇} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{二七〇} \\ \text{二八〇} \\ \text{二九〇} \\ \text{三〇〇} \\ \text{三〇〇} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{二七〇} \\ \text{二八〇} \\ \text{二九〇} \\ \text{三〇〇} \\ \text{三〇〇} \end{matrix}$
$\begin{matrix} P \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$	$\begin{matrix} P \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$	$\begin{matrix} P \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$	$\begin{matrix} P \\ P \\ B \\ P \\ B \end{matrix}$
$\begin{matrix} \text{一} \\ \text{二} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{一} \\ \text{二} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{一} \\ \text{二} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \text{一} \\ \text{二} \end{matrix}$
海岸線夜回偵察 侵入 夜回銃撃	夜回銃撃 滑走路使用不敵	夜回銃撃 被害油タンク X 一 炎上	夜回偵察 被害 X 七 夜回偵察



終り (1) 11 11 11 11

昭和二十年六月三十日 一五三。總長奏上

戦況ニ關シ 奏上

謹ミテ戰況ニ關シ 奏上ス

一、昨二十九日南西諸島方面一般ニ天候良好ナリシモ  
沖永良部島ニ於テ敵駆逐艦三隻ヲ認メタル外  
敵情不明ナリ

沖永良部島ニ對シ一昨二十八日一〇三〇ヨリ昨二十九日  
〇一〇〇ニ亘リ北方一〇軒附近ニ漂泊スル敵駆逐艦  
三隻ヨリ内火艇ヲ以テ沿岸偵察ヲ實施スルニタル

後一三二五年平屋島方面ニ去レリ

二、本未明台湾方面第九空襲部隊ハ沖縄方面敵  
基地攻撃ヲ實施セルモノ如ク。ニ〇〇以後攻撃ニ  
關スル断片的電報數通受信セリ内ニ核ハ炎上  
ニ箇所及大火災三箇所ヲ確認シアリ

三、バリックパシレ方面ノ敵ハ一昨二十八日モ引續キ大小艦  
艇三十數隻ヨリスル廣範圍ニ亘ル熾烈ナル銃砲撃

茲ニ航空機ノ爆撃ヲ掩護下舟艇八隻ヲ以テ我水  
際陣地ノ偵察ヲ實施セリ

一、昨日ハ視界不良ニシテ同地附近ノ敵艦艇ノ全  
貌不明ナルモ艦艇五二隻ヲ認メタリ

四、詳細不明ナルモ敵艦艇若干「オホーツク」海ニ侵入  
セル模様ナリ

五、昨二十九日「ニミッツ」公報ニ依レバ米軍部隊ハ北

「マリアナ」諸島の「モウグ」「アツソンソシ」「バガン」「アラマ  
ガン」「サリグワシ」「アナタハン」の六島に上陸セリ同作  
戦ハB29型機ノ不時着基地ヲ得ルベク敢行アレタ  
リト

六、海軍総隊ニ於テ目下計畫中ノ特殊作戰ハ次ノ通ナリ

(1)「マリアナ」基地攻撃作戰

劍作戰 隊テヨリ潜水艦ヲ以テスル上陸作戰ニ備ヘテ

準備セン特別陸戦隊約ニ五〇名ヲ中型攻撃

機約ニ五機ニ依リ「マリアナ」Bニ九基地ニ強行

着陸ヲ敢行シBニ九ヲ基地ニ於テ破摧セント

スル挺身攻撃作戰ニシテ目下七月中旬

以降月明期ノ夜間實施ノコトニ計畫中ナリ

烈作戦 銀河胴体下方ニ多數ノ機銃ヲ裝備シ硫黄

島及「マリアナ」ノBニ九基地ヲ強襲スル作戦ナル

モ目下機材準備等ノ關係ニテ使用機數時機

等未定ナリ

(四)潜水艦ニ依ル特殊作戦

嵐作戦 潜水艦ニ隻ニ晴嵐六機ヲ搭載シ敵機動

部隊ヲ泊地「ウルシー」ニ奇襲セントスル作戦ニ

シテ七月初頭大湊方面ヲ出撃シ八月上旬決行

ノ豫定ナリ

終り(一)ノ終り

光作戦 「トランク」方面偵察力強化ノ目的ヲ以テ「トランク」

ニ彩雲四機ヲ潜水艦ニ隻ニ依リ輸送セント

スル作戦ニシテ七月初頭大湊方面ヲ出撃シノ豫

定ナリ